1. アクティブラーニングを実施している科目について

1) 初年次ゼミ ※ 他学部や全学共通組織などの別組織が提供している科目を含む

● 「初年次ゼミ」とは、初年次に配当されスタディスキル(レポートの書き方、文献探索など)や能動的な学びへの態度転換を目的とする双方向、少人数で行われる演習などの科目のことです。

「90 分換算での1クラス、1セメスターあたりの授業回数」欄は、1コマを90分とした場合、1つのクラスでは当該の授業を1セメスターの間に何コマ実施されていることになるかということを問う欄です。例えば、1コマ90分で時間割が組まれていて、毎週火曜日の午後の2コマを使って1セメスターの間に15回実施されている科目があった場合には、"30"と記入します(15回×2コマ)。

SA: 2年生以上の学部生

TA:大学院生

ファシリテータ:単なるプリント配布や回収などの事務的な作業だけではなく、受講生に対して直接アドバイスも行って授業進行を補佐するような人。

					17 07 576			(10 🖾 🗡 🗁 (70					
【記入欄】														/
		提供組織	必修/選		配置セメスター		まれているア い場合、把握できな		ーニングの形態		レポート	9 教		A ある は T A
初年次ゼミの 科目名		※1 該当する提供組織を√して下さい。※2 他学部や			※ 配置されて いるセメスター	グル	デ	フィ	プレ	振 授 業 時	返却の有無	分換ーの	リ - と !	ファラ マーて 授 に 関わ
* 「初年次ゼミ」 とは、初年次に配		全学共通組織が 提供している場 合には把握して いる範囲で、右	必修/ 選択	⇒選択科目の場合	に V、通期開講の場合には前期・後期の両方に V。3 学期制	プ	イ ベ	ル	ゼ ン テ	り 間 外 学	※ 実施しない場合、把握できない場合は記入しない	での1クラ	講 るか ※ るも	
当されスタディス キル (レポートの 書き方、文献探索	目的と内容 (50 字以内)	の設問に回答して下さい。	※ 該当するものに		の場合、1学期 は前期、2・3 学期は後期とし て記入して下さ い。	ワ	I	7 1	ト シ ョ	返 (宿 題	で下さい。	ス、 1 セ の	が全 の場 講 で美 いれ	全1講座 場合、そこ 実施して れば"全講
など) や能動的な 学びへの態度転換		, ,		E le to		2	l h	2	<u>ک</u>	h		メー平 スーター均	✓.	
を目的とする双方 向、少人数で行わ れる演習などの科		全		履修率 (x%) ※ 学科学生の何%が履修		基 2 時 本 5	本。	基 2 時 本 3	基 2 時 基	4 3	F 返 返 返	当担た。	全講座で	一部の講完
目のことです。		全 学 学 科	必 選 修 択	しますか?該当する学科内 での履修率を✔して下さ い。	前期後期	的 に 毎 1 回 々	的 に 毎 1 回 回 々	的 に 毎 1 回 々	的 に 毎 1 毎 1		教 し 必 員 _な	9の授業回	導	座で導入
				x<20 20≦x<40	-						一 二	数 数	*	
				$40 \le x < 60$ $60 \le x < 80$ $x \ge 80$										
				x<20 20≦x<40										
				$ \begin{array}{c c} 40 \le x < 60 \\ 60 \le x < 80 \\ x \ge 80 \end{array} $										
				x<20 20≦x<40 40≦x<60	:									
				60≦x<80 x≥80										
				x<20 20≤x<40 40≤x<60										
				60≦x<80 x≧80	-									

2) 専門知識を活用しないアクティブラーニング科目

- 「専門知識を活用しないアクティブラーニング科目」とは、専門知識を活用せず、自己発見、モノづくり、社会見学、スタディスキル指導(レポートの書き方、文献探索など)などに取り組むような科 目のことです。

「90 分換算での1クラス、1セメスターあたりの授業回数」欄は、1コマを90分とした場合、1 つのクラスでは当該の授業を1セメスターの間に何コマ実施されていることになるかということ を問う欄です。例えば、1コマ90分で時間割が組まれていて、毎週火曜日の午後の2コマを使っ SA: 2年生以上の学部生 TA:大学院生

ファシリテータ:単なるプリント配布や回収などの

	4目の目 レて下さ		゚゚クティン	ブラーニ	ングの	分類と	重なる場合、比重が最も大きい分類の回答欄に回	答 て1セメスターの間に15回実施 2コマ)。	されている科目が	があった場合	合には、"30"と記入します(15回×		な作業だけではなるも行って授				
【記入	、欄】											J [\ /		
配置	セメ	スター							必修/;	選択		9 教	類 開			·+ + ^	
の場合 合、1 して ※2	合には 1 学期 下さい。 履修	学年が「2年	の両方(・3 学期 =次後期~	こ √ 。3 別は後期 ~」など	3 学期制 関として と指定	制の場 て記入 されて			肢に √ 。 科内の一	する選択 なお、学 ·部のコー		〇分換算での1	- 	がことしるか	へあるいに ファシリラ レて授業し い? 該当するもの	テータ に関わ	
いる ^科 1年		合には、2 2年次		(の各後 年次		· 年次	<u>専門知識を活用しない</u> アクティブラーニング科目名	目的と内容 (50 字以内)	スや専攻で必修と している場合には 選択として下さ い。		マ 医が行品の場合 ー セメスター	ク 担 ラ 当		開講 の場 いれ	開講講座数が全1講座 の場合、そこで実施して いれば"全講座で導入" に✔。		
前期	後期	前り後期	前期	後期	前期	後期				選択科目	履修率 (x%) ※ 卒業までに学科学 生の何%が履修します か?該当する履修率を ✓して下さい。	· 私 目 内 平 数		全講座で導入	一部の講座で導入	導入していない	
				:	<u> </u>	:				:	数 x<20		数			<u>:</u>	
											20≦x<40 40≦x<60						
											60≦x<80						
						<u> </u>				! !	x≧80 x<20				-	:	
											20≦x<40 40≦x<60 60≤x<80						
				! !		-				! !	60≦x<80 x≧80					<u> </u>	
										1 1 1 1 1 1 1 1	$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$						
				-		-				: :	x≥80					<u> </u>	
											$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$						
				-	_	-				:	x≥80					<u> </u>	
											$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						

3) 専門知識の定着を目的としたアクティブラーニング科目

- 「専門知識の定着を目的としたアクティブラーニング科目」とは、専門知識の定着を目的として、ケーススタディ、実験、演習・実習などを実施している科目のことです。
- 科目の目的が他のアクティブラーニングの分類と重なる場合、比重が最も大きい分類の回答欄に回答して下さい

「90 分換算での1クラス、1セメスターあたりの授業回数」欄は、1 コマを 90 分とした場合、1 つのクラスでは当該の授業を1 セメスターの間に何コマ実施されていることになるかということを問う欄です。例えば、1 コマ 90 分で時間割が組まれていて、毎週火曜日の午後の2 コマを使って 1 セメスターの間に 15 回実施されている科目があった場合には、"30" と記入します(15 回×2 コマ)。

SA: 2年生以上の学部生 TA: 大学院生

ファシリテータ:単なるプリント配布や回収などの 事務的な作業だけではなく、受講生に対して直接ア ドバイスも行って授業進行を補佐するような人。

【記入欄】

【記入欄】						,									\sim	
配置セメ	スター							必修/	選択		6	教員	開		7 1 1 1	L A
の場合には 合、1学期 して下さい ※2 履修	されているも 前期・後期の は前期、2・ 。 学年が「2年か 場合には、2~ 2年次	両方に √ 。 3学期は後 ズ後期~」なる	3 学期制 期として どと指定 後期に √ 。	制の場 て記入 されて	<u>専門知識の定着を目</u> <u>的とした</u> アクティブ ラーニング科目名	※ 例えば、ドリル、実験、	定着させる専門知識を伝達している科目 ※ 定着させるべき知識を当該科目で伝達している 科目で伝達している場合と、当該科目とは別科目で伝達している科目が 外で伝達している科目が	肢に ✓ 。 科内の- スや専巧 している 選択と	4する選択 なお、学 一部のコー	⇒ 選択科目の場合	0分換算での1クラス・	員一人当たりの担当学生数	講講	がファ	授業 に 台するもの 変数が全 そこでま	テータ こ関わ のに √ 。 注 に に に に に に に に に に に に に に に に に に
前後期期	前後期期	前後期	前期	後期			あればご記入下さい。なお、当該科目で伝達している場合には"同科目"と記入して下さい。	必修科目	選択科目	履修率 (x%) ※ 卒業までに学科学 生の何%が履修します か?該当する履修率を ✓して下さい。	-あたりの授業回数	(科目内平均)	座数	全講座で導入	一部の講座で導入	導入していない
										$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
										$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
										$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
										$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
										$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						

4) 課題解決を目的としたアクティブラーニング科目

- 「課題解決を目的としたアクティブラーニング科目」とは、専門知識を活用して、PBLやモノづくりのような創成型授業などに取り組む科目のことです。PBL (project/problem based learning)とは、課題発見・解決型学習のことで、学習者が自ら課題を発見し、その解決を図ることを通して学びを深めるような学習方法のことです。
- 科目の目的が他のアクティブラーニングの分類と重なる場合、比重が最も大きい分類の回答欄に回答して下さい。
- 専門ゼミ・専門研究については5)で、卒業論文・卒業研究については6)で、それぞれ回答して下さい。

「90 分換算での1クラス、1セメスターあたりの授業回数」欄は、1コマを90分とした場合、1つのクラスでは当該の授業を1セメスターの間に何コマ実施されていることになるかということを問う欄です。例えば、1コマ90分で時間割が組まれていて、毎週火曜日の午後の2コマを使って1セメスターの間に15回実施されている科目があった場合には、"30"と記入します(15回×2コマ)。

SA:2年生以上の学部生

TA:大学院生

ファシリテータ:単なるプリント配布や回収などの 事務的な作業だけではなく、受講生に対して直接ア ドバイスも行って授業進行を補佐するような人。

【記入欄】

	置セメ		_								必修/	 選択		7 9	教	開			
	配置	-		メスタ	- 1.7 .	◢ 通生	調盟講				必修ん			0	教 員	1213		らるいは	
の場 合、 して ※2	記 計 計 計 二 下 さい に 履修: 科目の場	前期・1 は前期、 。 学年が「	後期の 、2・ ^{2年次}	両方に 3 学期 :後期~	✔。3 は後期 」など	学期制 目として と指定	削の場 て記入 されて	<u>課題解決を目的とし</u> <u>た</u> アクティブラーニ ング科目名	授業内容 (50 字以内)	活用すべき専門知識 を伝達している科目 ※ 活用すべき知識を当 該科目で伝達している場	※ 該当 肢に✔。科内の一 スや専攻	4する選択 なお、学 一部のコー	⇒ 選択科目の場合	分換算での1ク	一人当たりの担	講	るか?	. 授業に 台するもの	こ関わ のに ノ 。
1	年次	2年	₣次	3 £	F次	44	年次			合と、当該科目とは別科目 で伝達している場合とが あります。当該科目以外で 伝達している科目があれ	選択と	して下さ		ーセメスター	担当学生数	講	の場合、 いれば に √ 。	そこで実"全講座"	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後 期			ばご記入下さい。なお、当 該科目で伝達している場合には"同科目"と記入して下さい。	必修科目	選択科目	履修率 (x%) ※ 卒業までに学科学 生の何%が履修します か?該当する履修率を	あたりの授業回数	(科目内平均)	座	全講座で導入	一部の講座で導	導入していない
													✔して下さい。	凹 数		数		导 入	ι,
													$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
													$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
													$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						
													$x<20$ $20 \le x<40$ $40 \le x<60$ $60 \le x<80$ $x \ge 80$						

5) 専門ゼミ・専門研究

該当する選択肢に**√**を記して下さい。なお、専門ゼミ・専門研究では、指導教官・研究室ごとにそれぞれ別科目として扱われていることがありますが、ここでは専門ゼミや専門研究そのものを1科目として記入して下さい。

記入例) · 2年次後期に「プレ演習」(選択科目、履修率90%)、3年次通期に必修科目「演習Ⅰ」、4年次通期に必修科目「演習Ⅱ(卒業研究)」が配置されている。

・ 各演習とも講座数は20講座である。

	必修。	/選択	j	選択科目であ	る場合の履	修率(x %)								ゼミある
	※該当っ	する選択 しょうしょう	※ 卒業す	ミでに学科学	生の何%が	履修しますた	か?該当す		酉	記置されてい	るセメスタ-	_		いは講座
科 目 名	肢に✔		る履修率を	ノして下さ	٧١°									の開設数
	必修	選択	x<20	20≦x<40	40≦x<60	60≦x<80	x≧80	2 4	年次	3 4	年次	4 🕏		
	修	択	X\20	20≦X\40	40≦X\00	00≦X\00	X≦00	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
プレ演習		~					~		~		:		 	20
演習 I	~								1	~	~		1	20
演習Ⅱ(卒業研究)	~	! ! !										~	V	20

【記入欄】

	必修/	/選択	j	選択科目であ	る場合の履	修率(x %)				ゼミある				
	※該当っ	する選択	※ 卒業す	でに学科学	生の何%が	履修しますだ	か?該当す			いは講座				
科 目 名	肢に ノ		る履修率を	✔して下さ	い。					の開設数				
	必修	選択	x<20	20≦x<40	40≦x<60	60≦x<80	x≧80	2 5		3 4		44		
	修	択	X\20	20=1/40	40≅X\00	00⊒X\00	X≦00	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		1							! !				 	
		1							1		1		1	
		 							: ! ! !		: : :			

6) 卒業論文・卒業研究 ※ 卒業レポートのみの場合、卒業実験のみの場合は含みません。

チェック欄には該当する選択肢を✔して下さい。

番号	設問	選 択 肢		チェック欄	番号にしたがって お進み下さい。
(1)	卒業論文・卒業研究はありますか?	ある	択一		2^
(1)	十未岫ス・千未朔元(はぬ)りよりが:	ない	υC		次頁へ
(2)	 卒業論文・卒業研究がある場合、それは全員必須とされていますか?	全員必須とされている	択一		3~
2	一	必須とされていない	1/\		4 ^
	 卒業論文・卒業研究が全員必須とされている場合、論文の執筆量などの規定はあります	最低限の量規定がある			
3	か?規定がある場合には、選択肢に✔した上で、その下の空欄にその量規定について記	<量規定>	択一		6 ~
	述して下さい(自由記述)。 	量の規定は無い			
		20%未満			
		20%以上 40%未満			
(4)	卒業論文・卒業研究が全員必須とされていない場合、学科1学年の学生数を母数として、	40%以上 60%未満	択一		(5) ^
4)	卒業論文・卒業研究に取り組む学生の割合はおよそどのくらいですか?	60%以上 80%未満	7八一		5)~
		80%以上 100%未満			
		100%			
	 卒業論文・卒業研究が全員必須とされていない理由はどのようなものですか?	必要であるが、やむを得ず必須としていない			
(5)	また、卒業論文・卒業研究が全員必須である必要がない場合、その理由についてその下	全員必須である必要がない	択一		<u>6</u>
9)	の空欄に記述して下さい(自由記述)。	<その理由>	1/\		O • •
	大米の人と 大米がかいとフロハ フのヴォルル かた、よよこの	複数教員により審査が行われる	T1-1		
6	卒業論文・卒業研究がある場合、その審査は誰が行いますか?	担当教員のみの審査が行われる	択一		·
(7)	卒業論文・卒業研究がある場合、審査(評価)において、明文化された審査(評価)基	ある			(8)~
	準チェックシートはありますか?	ない	択一		
		卒論(卒研)発表会が行われている			
8	 卒業論文・卒業研究がある場合、その発表はどのように行われますか(複数回答可)?	全員参加のポスターセッションがある	複数		9 ^
0	午来冊又・午来明元がめる場合、ての先衣はこのように11404tよりが (後数回台刊):	優秀論文の発表会がある	回答可		
		卒論(卒研)発表会は行われていない			次頁へ
9	 卒論(卒研)発表会が行われている場合、全員の口頭発表はありますか?	全員の口頭発表がある	択一		(10)~
<i>③</i>	一十冊(十明)元衣云が114246(* 3勿日、土良の日頃光衣はめりよりが:	全員の口頭発表はない	IJĊ		\(\overline{\pi}\)
10	 卒論(卒研)発表会が行われている場合、その発表は成績に反映されますか?	反映される	択一		 次頁へ
10	一十明 (一明)/ 元久云/パ 14/40 (v つかロ、 (v/元久(み)以順(以))(で40より // *:	反映されない	Ψ.\		八只

2. 学習成果コンテストについて ※ 学習成果コンテスト:単なる発表会ではなく、成果を競い、表彰や順位付けが行われるもの。

正課の学習成果を高めることを目的にした、大学、学部あるいは学科主催のゼミ大会、制作物のコンテスト、研究発表会などの学習成果コンテストはありますか (1 ゼミ・1 授業内のもの、卒業研究発表会、学外団体が主催するものは除く)。該当する選択肢に✔を記して下さい。

ここで言う「参加学生」には、プレゼンをする学生、プレゼンのための準備をする学生が該当します。

学習成果コンテスト	は、4年 ・?該当す	4年間を通して全学生 当する履修率の箇所に												
	1年生	2年生	3年生	4年生	大学	学部	学科	•	x<20	20≦ x<40	40≦ x<60	60≦ x<80	80≦x <100	x=100
										: 	 	: 	; ; ;	-
			i 	i 		i 	i 			i i i	i I I I I	i i i	i ! !	
			i I I I	i ! ! !		i I I I	i I I I				i ! !		i ! ! !	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
				! ! ! ! !			 				 			
				! ! ! !			I 				 		 	
		の概要	の概要	の概要	の概要	の概要	の概要	の概要	の概要 1年生 2年生 3年生 4年生 大学 学部 学科 その他	学習成果コンテスト の概要	学習成果コンテスト の概要 主 催 ※ 「参加学生の の何%程度が参加 ✔を記入して下さ	学習成果コンテストの概要 対象学年 主 催 ※ 「参加学生の割合」での何%程度が参加しますがい。 ✓を記入して下さい。 25年は、25年は、25年は、45年は、45年は、45年は、45年は、45年は、45年は、45年は、4	学習成果コンテストの概要 主催 ※ 「参加学生の割合」では、4年の何%程度が参加しますか?該当する。 ・ を記入して下さい。 ・ を記入して下さい。	学習成果コンテスト の概要

以上、ご協力ありがとうございました。